

香取秀真 津田信夫 佐々木象堂 山本安曇 杉田禾堂 北原千鹿 西村敏彦 丸山不忘 高村豊周

内藤春治 北村明道 清水多嘉示 豊田勝秋 香取正彦 田中(森村)寿々



没後70年

森村西三とその時代

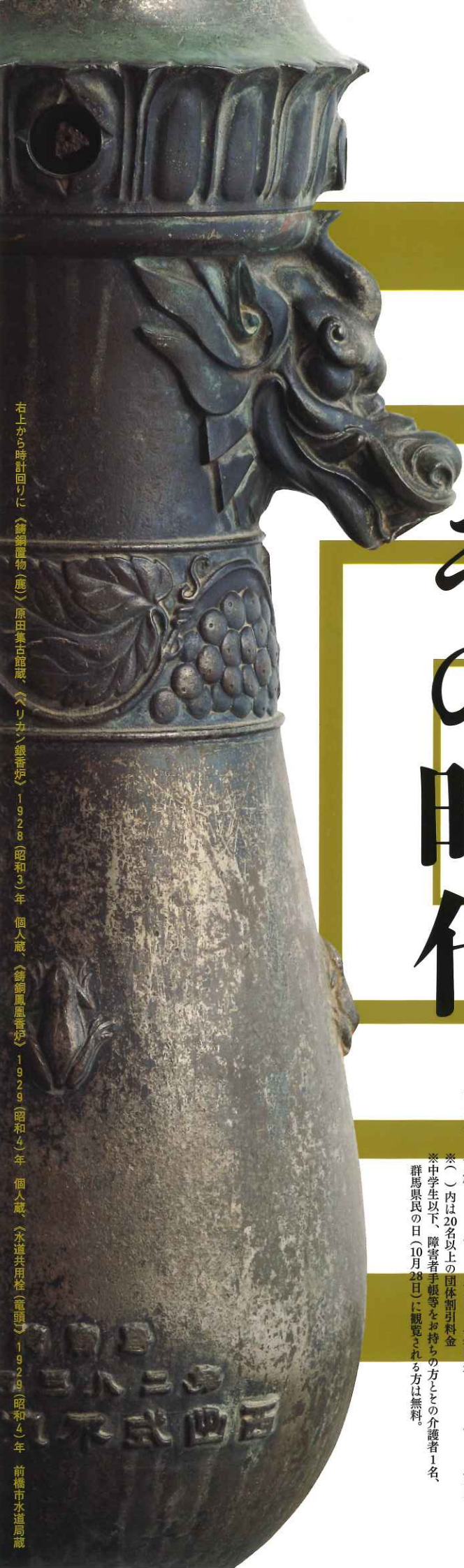
2019年

9月21日(土) ~ 11月10日(日)

開館時間: 午前9時30分 ~ 午後5時(入館は4時30分まで)
休館日: 月曜日(9/23、10/14、28、11/4は開館)、
9/24(火)、10/15(火)、11/5(火)

主催: 群馬県立近代美術館
協力: 千葉県立美術館
後援: 高崎市、伊勢崎市、伊勢崎市教育委員会
観覧料: 一般820(650)円、大高生410(320)円
※()内は20名以上の団体割引料金

※中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方とその介護者1名、群馬県民の日(10月28日)に観覧される方は無料。



群

馬県出身の鑄金工芸家、森村西三

(1897-1942)は、東京美術学校で学んだ技術を生かし、植物文や花で飾られた花瓶を制作、鳥や動物をモチーフとしたモダンな作品で帝展や文展に入選を重ねる傍ら、人物の胸像では、穏やかな写実表現により、モデルの在りし日の姿が偲ばれる作品を多く制作しました。また、高崎の白衣大観音像の原型を手がけたことでも知られています。

られています。

戦時中の供出により

失われた大型作品や、

終戦後まもなく病に倒れて亡くなってから時間が経過し、所在がわからなくなった作品も多くあります。

本展では、森村の作品をできる限り

集め、東京美術学校の師・津田信夫や先輩・高村豊周など同時代に工芸の革新を目指した鑄金家たちの活動とともに紹介することで、美術史の中にその足跡を位置付けることを試みます。



森村西三とその時代

没後70年



関連事業

シンポジウム 高崎白衣大観音の謎に迫る 9/29(日)

登壇者：手島仁(前橋学センター長・森村西三・寿々研究者)、塚越透(井上保三郎、房一郎研究者・元井上工業職員)、田口正美(群馬歴史散歩の会編集委員・元小学校長)、神尾玲子(当館学芸員)

講演会 鑄物師か？ 鑄金家か？—彫像作品制作をめぐる 10/6(日)

講師：本橋浩介(佐倉市立美術館学芸員)

講演会 森村西三の生きた時代—津田信夫と依頼制作 10/14(月・祝)

講師：中松れい(千葉県立美術館学芸課長)

※各日とも14:00~15:30 当館2階講堂 申込不要・聴講無料(先着200名)

学芸員による作品解説会 10/23(水)、11/2(土)

14:00~15:00 申込不要・要観覧料

同時開催「MONOLOG IN THE DOOM 佃弘樹」

2019年7月13日(土)~12月16日(月)

次回展覧会「西洋近代美術にみる神話の世界」

2020年2月8日(土)~3月22日(日)

群馬県立館林美術館のご案内「ピカソ展—ゲルニカ[タピスリ]をめぐる」

2019年10月5日(土)~12月8日(日)



交通案内

・車 上信越自動車道の「藤岡I.C.」高崎方面出口より出て、県道13号を前橋方面に向かい約10分。関越自動車道の「高崎玉村スマートI.C.」(ETCのみ)より出て、国道354号を高崎方面に向かい、県道13号に出て藤岡方面に約8分。北関東自動車道の「前橋南I.C.」より県道13号に出て藤岡方面に約15分。県立公園「群馬の森」の大駐車場をご利用ください(無料)
・タクシー JR高崎駅東口より約20分。JR新町駅より約10分。
・電車・バス JR高崎線・湘南新宿ライン・上野東京ラインまたは上越・北陸新幹線で高崎駅下車(新幹線は東京駅より約60分)。JR高崎駅東口より市内循環バス「ぐるりん」9、10、15系統で約30分、「群馬の森」下車(200円)。

群馬県立近代美術館

THE MUSEUM OF MODERN ART, GUNMA

〒370-1293 群馬県高崎市綿貫町992-1

tel.027-346-5560 fax.027-346-4064

http://mmag.pref.gunma.jp/